

三芳町学校施設個別施設計画（概要版）

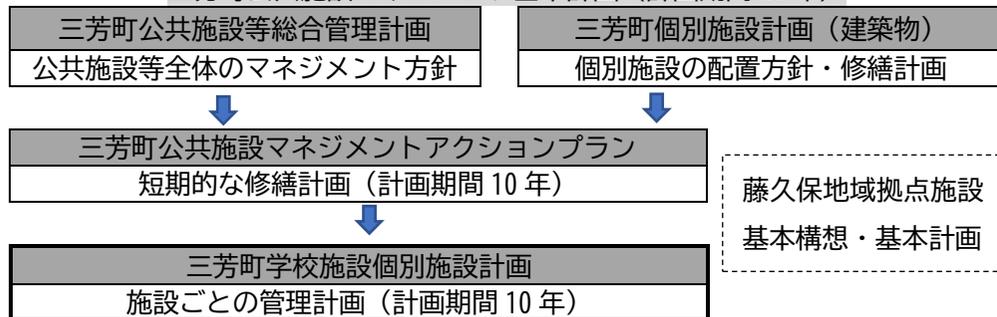
○計画の目的等

本町においては、令和3年（2021年）から令和42年（2060年）までの40年間を計画期間とした三芳町公共施設マネジメント基本計画（以下「基本計画」）改訂版を令和3年3月に策定しました。

「三芳町学校施設個別施設計画」（以下「本計画」）は、基本計画を踏まえ、予防保全によって施設の長寿命化を図り、児童生徒の安全・安心を確保することで、学校施設に求められている機能の向上や性能の確保を図るとともに、長期的な維持管理のトータルコストの縮減及び財政の平準化を図ることを目的とします。

○本計画の位置づけ

三芳町公共施設マネジメント基本計画（計画期間40年）



○計画期間

本計画の計画期間は令和3年度（2021年）から令和12年度（2030年）までの10年間とし、5年毎に見直しを行うものとします。また、期間内において基本計画の見直しに伴い整合性が図れない場合や、児童生徒数や社会情勢の変化などの動向によっても内容を見直すこととします。令和6年4月に内容の一部改訂を行いました。

○計画対象施設

- ・小学校5校（三芳小学校・藤久保小学校・上富小学校・唐沢小学校・竹間沢小学校）
- ・中学校3校（三芳中学校・三芳東中学校・藤久保中学校）

○再整備の方針

本町の学校施設の多くは、昭和40年代から50年代に建築されたもので、老朽化が進行し、一斉に更新時期を迎えることから、早急な対応が求められます。

安全で快適な学習環境を維持・確保するために、施設の老朽化対策を実施し、長期利用を図るための「長寿命化改修」に重点を置いた計画を策定します。建物の改修等を実施する際には、物理的な不具合を直すことにとどまらず、構造体の機能回復を図

るとともに、建物の機能を社会の要求水準まで引き上げることを目指します。

防犯や安全性に配慮した施設整備、ユニバーサルデザイン化を図ります。さらに地球環境に配慮し、断熱効果の向上、LED照明の導入、校内緑化等を進めます。

○直近10年の実施計画

本計画では、ライフサイクルコスト（以下、LCC：建物を企画・設計・建築し、維持管理を行い、解体・廃棄するまでの全期間に要する費用）の低減を基本とした、耐用年数の見直し、各施設における改修内容の検討、今後の社会情勢に応じた整備パターンの導入等、学校施設整備の改修計画を策定しており、今後10年間（令和3年度から令和12年度）の実実施計画は以下のとおりです。

なお、令和13年度以降の具体的な計画については、総合計画や社会情勢等との整合を図りながら、策定してまいります。

【学校施設改修計画】令和3年度～令和12年度

※令和6年4月に内容の一部改訂

令和4年度	〈三芳東中学校〉 大規模改造（質的整備） トイレ改修工事 ※校舎西側
令和5年度	〈三芳東中学校〉 大規模改造（質的整備） トイレ改修工事 ※校舎東側
令和6年度	〈藤久保小学校〉 改築工事（校舎・屋内運動場）
	〈上富小学校〉 大規模改造（質的整備） 空調設置工事 ※屋内運動場
	〈竹間沢小学校〉 大規模改造（質的整備） 空調設置工事 ※屋内運動場
	〈三芳中学校〉 大規模改造（質的整備） 空調設置工事 ※屋内運動場

令和6年度

〈三芳東中学校〉
大規模改造（質的整備）
空調設置工事 ※屋内運動場

〈藤久保中学校〉
大規模改造（質的整備）
トイレ改修工事 ※校舎東側

令和7年度

〈藤久保小学校〉
改築工事（校舎・屋内運動場）

〈三芳小学校〉
大規模改造（質的整備）
空調設置工事 ※屋内運動場

〈唐沢小学校〉
大規模改造（質的整備）
空調設置工事 ※屋内運動場

〈藤久保中学校〉
大規模改造（質的整備）
空調設置工事 ※屋内運動場

〈藤久保中学校〉
大規模改造（質的整備）
トイレ改修工事 ※校舎西側

令和8年度

〈藤久保小学校〉
改築工事（校舎・屋内運動場）

※藤久保地域拠点施設基本構想対象施設

施設名	適正化方策	適正化方策の説明
三芳小学校	統合（集約）	予防保全的な修繕対応を図りながら、適切な規模を確保します。また、上富小学校との統合（児童の受け入れ）について検討します。中長期的には、三芳中学校の建替えに合わせて、複合化を検討し、児童・生徒数に応じた適切な規模を確保した小中連携校の整備を検討するとともに、三芳小学校跡地のグラウンドとしての活用等についても検討します。
藤久保小学校※	複合化	町内の年少人口の半数以上が集中している藤久保地区に立地していることから、安全性等に配慮した上で、図書館や児童保育室等も含まれる藤久保地域拠点施設の整備に伴う複合化を進め、教育環境の質を高めるとともに、直近では児童数が増加しているものの、今後は減少に転じると想定されることから、適切な規模の確保を図ります。
上富小学校	統合（廃止）	予防保全的な修繕対応を図りながら、適切な規模を確保します。また、児童数の変化に対応しながら、三芳小学校への統合を検討し、子どもたちが多様な人間関係の学び成長できるような教育環境の確保を図ります。三芳小学校と統合した際には、一部施設を活用した、歴史民俗資料館の整備についても検討します。
唐沢小学校	統合検討（集約検討）	予防保全的な修繕対応を図りながら、適切な規模を確保します。中長期的には、将来的な児童数の変化に対応しながら、最も近接する竹間沢小学校との統合について検討します。
竹間沢小学校	統合検討（廃止検討）	予防保全的な修繕対応を図りながら、適切な規模を確保します。中長期的には、将来的な児童数の変化に対応しながら、最も近接する唐沢小学校との統合について検討します。統合を検討する際には、創出される土地の活用の可能性についても検討します。
三芳中学校	縮小検討	近年は生徒数が横ばい傾向にありますが、今後は減少することが想定されるものの、上富地区や北永井地区からの通学を考慮し、町内西部における中学校を確保するために、予防保全的な修繕対応を図りながら、現施設を維持します。中長期的には、建替えに合わせて、三芳小学校との複合化による、児童・生徒数に応じた適切な規模を確保した小中連携校の整備を検討します。
三芳東中学校	統合検討（集約検討）	予防保全的な修繕対応を図りながら、適切な規模を確保します。中長期的には、将来的な児童・生徒数の変化に対応しながら、最も近接する藤久保中学校との統合について検討します。
藤久保中学校	統合検討（廃止検討）	予防保全的な修繕対応を図りながら、適切な規模を確保します。中長期的には、将来的な児童・生徒数の変化に対応しながら、最も近接する三芳東中学校への統合について検討します。

○学校施設の適正化方策

基本計画では、類似施設の廃止や集約等により町全域として公共施設の総量を縮減するとともに、より利便性が高い公共サービスの適切な配置への転換を進めるため、適正化方策を定めています。町の公共施設面積の54.5%を有する学校施設についても、町内の年少人口の動向や施設の建築経過年数等を踏まえ、右記のとおり適正化方策を示しています。（※基本計画より抜粋）